



みどり

第12号 令和3年2月4日

～響けあいさつ 学びいっぱい 仲間とともに輝くみどりの子～ 下野市立緑小学校 高橋 美恵子



学校教育診断（保護者・児童アンケート、自己評価）の結果について



栃木県に緊急事態宣言が発令されて、外遊びにも再び制限をかけなければならなくなり、子供たちはカンピチーム（2・3・6年）と、こまろチーム（1・4・5年）に分かれて遊んでいます。今年の冬は天気の良い日が続いているので、校庭で遊べる割り当ての時間には、短縄跳びの練習やサッカー、遊具を楽しむ子の姿が多く見られ、思わず笑みがこぼれます。室内での生活の様子を見ても、多くの児童が落ち着いて学校生活を送ることができています。ご家庭におきましても引き続き、マスク着用とうがい・手洗い、手指消毒の励行に、ご協力よろしくお願ひします。

さて、11月末にご協力いただきました「学校教育診断」保護者アンケートの結果とその分析等がまとまりましたので、お知らせいたします。教職員と児童の自己評価の主な結果と分析も掲載しましたので合わせてご覧ください。この結果を踏まえ、本年度の教育活動を謙虚に反省し、次年度の教育活動に役立てていきたいと思ひます。

次号では、学校関係者評価についてもお伝えいたします。

（※今年度の達成度について「Aよくあてはまる」と「Bややあてはまる」を合計したパーセントとして示しました。）

1. 保護者・児童アンケートの結果と分析

【保】は保護者、【児】は児童（/は、R1と設問が変わったところ）

教育活動についての評価項目	R2 (%)	R1 (%)	教育活動についての評価項目	R2 (%)	R1 (%)
1 【保】お子さんは学校に行くのが楽しそうである 【児】学校は楽しい	91.8 93.3	94.2 95.7	9 【保】お子さんは友達に優しく接している 【児】緑小のみんなは親切にしてくれる	93.9 90.1	94.2 97.4
2 【保】お子さんは学校で友達と仲良く過ごしている 【児】学校では友達と仲良くし過ごしている	93.5 96.2	94.2 98.2	10 【保】お子さんは家でお手伝いなど自分の役割をもっている 【児】清掃や係の仕事を一生懸命やっている	74.2 94.8	71.3 96.2
3 【保】お子さんは運動会や遠足などの学校行事が楽しみにしている 【児】運動会や遠足など学校行事が楽しみだ	96.5 96.6	97.3 97.8	11 【保】緑小は現在ある施設を有効活用し、校舎内外が整備されている 【児】緑小は整理され過ごしやすい環境になっている	86.6 92.9	84.1 94.8
4 【保】お子さんは家で本を読んでいる 【児】読書が好きでたくさん読んでいる	72.5 76.4	73.5 81.6	12 【保】先生はわかりやすい授業に努めている 【児】先生の授業はわかりやすい	87.9 96.6	89.8 95.2
5 【保】お子さんは道徳的な判断力が育っている 【児】道徳の時間に学んだことを自分の行動に生かそうとしている	87.9 82.0	92.0 85.8	13 【保】先生は一人一人の子供をよく見て指導にあたっている 【児】先生は困っているとき助けてくれる	86.2 95.2	90.3 98.7
6 【保】お子さんは好き嫌いせずに給食を食べている 【児】給食は好き嫌いせずに食べている	85.4 85.3	/	14 【保】先生は子供を認めている 【児】先生はよいことをしたときや頑張ったときほめてくれる	86.6 92.9	89.4 97.4
7 【保】お子さんは将来の自分への夢をもっている 【児】大人になったらつきたい仕事について考えることがある	72.5 86.3	74.8 85.4	15 【保】緑小は学校の情報を発信し、開かれた学校作りを行っている 【児】学校生活のことについて家の人に話をしている	86.2 86.7	88.1 88.8
8 【保】お子さんは学校のルールや規範を守っている 【児】学校で時間やルールを守って生活している	88.4 86.7	92.5 88.0			

一分析概要一

【保護者アンケート】については、全体的におおむね良好な結果で、ほとんどの保護者の皆様が「お子さんは学校に行くのが楽しい。友達と仲良くしている。学校行事を楽しみにしている。友達に優しく接している。」と回答していました。13番・14番については、学級の満足度に関する調査を活かして学級内のよい人間関係づくり（教師と児童、児童同士）に努めるとともに、一人一人のよさや努力の過程を認める声かけをしていきます。4番については、「家読」の時間の確保に、ご協力をお願いします。6番については、昨年は「給食の時間は楽しいと言っている」という質問でしたが、今年度はグループにせず、前向きで静かに食べているので「好き嫌いせずに食べている」という質問に変えました。好き嫌いのある児童が14.7%いることがわかります。7番については、キャリアパスポートの活用を進めてキャリア教育の充実を図り、自分の将来に夢をもてる気持ちを育てていきたいと思ひます。キャリア教育とつながる10番のお手伝いや自分の役割も、進んでできるようご家庭でも働きかけていただけるとありがたいです。15番については、各種「たより」や

学校ホームページの内容充実を図り、一斉メールを活用した適切な情報発信にも努めていきます。昨年度の結果と比べると少し下がっている項目が多いことが分かります。感染症予防のため多くの行事が削減され、学校でのお子さんの様子を見ていただく機会が減ってしまったことも原因にあげられると思いますが、このような状況下でも保護者の皆様に学校でのお子さんの様子を伝えられるよう、努めて参りたいと思います。

【児童アンケート】については、ほとんどの項目で「よくあてはまる」「ややあてはまる」の児童が85%以上おり、肯定的な回答でした。5番については、学んだことを児童が実感できるような振り返りの工夫をしていきたいと思ひます。

4番の「読書が好きでたくさん読んでいます」については、25%程度の児童が「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答している。「たくさんかどうか」が左右したようです。本に親しむ工夫をさらにしていきたいと思ひます。児童アンケート結果も昨年度と比べて下がっている項目が多いことが分かります。コロナ禍での学校生活であったためと思ひますが、子供たちが学校生活を楽しみ安心して生活できるよう努力していきたいと思ひます。

<お気づきの点についての回答>

①授業参観について

・「今年は授業参観に行けなくアンケートについても分からないこともありました。オンライン授業参観にしてもよいのでは。」というご意見をいただきました。多くの家庭でオンラインでの授業参観ができるネット環境が整うことが条件になると思ひます。

②休み時間について

・「休み時間がいろいろな活動でなくなるようです。遊ぶ時間も教育上必要だと思ひます。」というご意見をいただきました。行事や集会で休み時間を使うときも、中休みか昼休みのどちらかは遊べるようにしています。これからも遊ぶ時間の確保に努めます。

③朝のあいさつについて

・「朝の立哨当番で子供たちにあいさつをするが、無口だったり元気がなかったりすることが気になります。」というご意見をいただきました。今年度は常時マスクを着用し、マスクをつけないときはしゃべらないという生活を送っているため、あいさつの声も小さくなっています。声は小さくても会釈をするなど、あいさつをしようとする態度を育てます。

④給食について

・「給食の量が少ないという話を子供本人と知人から聞いたのが気になっています。」というご意見をいただきました。給食は、各学年とも学校給食摂取基準に基づいた量を配給しています。均等に配膳した後、残った分をもっとほしい人に配ったり、配膳の時に大盛りと普通、少なめをつくらせて自分でほしい量をとるなど、各クラスで工夫しています。

⑤学校からのお知らせプリントについて

・「できるだけメール添付にてペーパーレスにしてほしい。」「今回のようなアンケートもネットで回答したら、集計も楽になるのでは。」というご意見をいただきました。市のメール配信システムが対応できるか、検討が必要です。

⑥トイレについて

・「家庭には和式トイレがない。」「男子は和式の個室に入りづらい。」等のご意見をいただきました。市に設備要望としてお願いしています。

⑦校庭の時計について

・「ずっと止まったままだった。」というご意見をいただきました。3面あるうち1面は、部品がないため直すことができません。2面は動いています。

⑧情報発信について

・「情報を開示しすぎな気がする。」というご意見をいただきました。学年だよりの掲載については検討中です。行事写真については、写真掲載の承諾書を年度初めに提出していただいています。

⑨歯磨きについて

・「コロナの見通しがたたない状況ですが再開は考えていますか。」というご意見をいただきました。感染者が多い中、感染予防に努めなければなりません。歯磨きでの飛沫感染によるクラスターも起きています。引き続き、学校での歯磨きは控えさせていただきたいと思ひます。

2. 学校評価（教職員による自己評価）の主な結果と分析



○高評価だった項目

- ・児童が自分の健康に関心を持ち、健康で明るい生活を送れるよう努めた。
- ・清掃やクリーン活動の取組を通して、勤労を尊ぶ心、協力し合う態度、責任感、愛校心等を育てている。
- ・児童の不安や悩みに対し、定期的な教育相談のみでなく、積極的に相談を実施している。
- ・保護者や地域の人と協力して、本校の教育活動を計画・実践している。

△今後も努力が必要と考えられる項目

- ・コロナ禍の状況でできなかった縦割り班活動や異学年交流をできる方法を考えて実施していきたい。
- ・「あいさつ運動」を核として、「当たり前なことを当たり前でできる」児童の育成に努めたい。
- ・現在および将来にわたって、よりよく生きるためのキャリア教育で自分に合った目標を立て自己の良さを生かし目標達成を目指しながら自主的に行動しようとする態度を育てたい。

保護者の皆様から、多くの感謝や励ましの言葉等を寄せていただきました。子供たちが生き生きと目標をもって学校生活を送るためには、保護者の皆様や地域の方々との協力・連携が、何より大切だと思ひます。これからも、ご支援・協力をお願いいたします。緑小全教職員一丸となって、よりよい緑小にするために努力してまいります。